

『津波災害発生時』に

米軍基地内 を通過しての避難が可能になりました!

東日本大震災を受け、津波が発生した場合、米軍基地内を避難経路として通行できるよう協定締結に向けて取り組みを進めておりましたが、9月12日に米軍から正式に発表があり、協定締結前であっても津波警報が発令された場合、米軍基地内を避難経路として通行することが可能となりました。

通行可能となったのは普天間飛行場の大山ゲートから佐真下ゲート、キャンプ瑞慶覧の北前ゲートからリージョンゲート（※普天間ハウジングゲートについては、海軍病院が完成した後、通行可能）、スポットゲートからPXゲートの3経路となります。

今後も継続して、米軍との協定締結の早期実現に取り組んでいきます。

津波警報時の基地内避難ルート



【留意事項】

- 津波警報が発表されると、ゲートの守衛等は避難するため基地内での誘導は行いません。ゲートは開放されますので、右記の地図を参考に、予め避難ルートを図上で確認しておいて下さい。（※今後避難路の表示板等が設置される予定）
- 車両での避難も可能ですが、車両避難が必要な要援護者（高齢者、障がい者等）を優先するため、原則徒歩での避難を心掛けて下さい。

問合せ：市民防災室 ☎893-4411（内線319）